

北間連だより

No.67

平成25年9月15日

発行者／北海道間税会連合会 会長 高橋則行 事務局／〒060-0034札幌市中央区北4条東2丁目8番6 札幌ユニオンハイツ4階 ☎011-271-6320 FAX011-272-6360

消費税 活かすみんなの 間税会



大倉山ジャンプ競技場

《 主 要 目 次 》

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| ●札幌国税局長着任あいさつ …………… 2 | ●平成25年度「消費税等に関するアンケート調査」…11 |
| ●国税局幹部のご紹介 …………… 3 | ●歳出、税制及び執行に関する意見・要望 …12～13 |
| ●北間連第40会通常総会等 …………… 4～6 | ●活動だより ……………14 |
| ●北間連創立40周年を迎えて(式辞・講演会等)
…………… 6～7 | ●岩見沢間税会女性部会設立 ……………15 |
| ●北間連40年の変遷 …………… 8～10 | ●国税広報 ……………15 |
| | ●北間連役員名簿 ……………16 |

着 任 あ い さ つ



札幌国税局長

え くに きよ し
江 國 清 志

出身地 大阪府

略歴

昭和56.4 国税庁入庁

平成20.7 国税庁 課税部 資産評価企画官

平成21.7 名古屋国税局 総務部長

平成22.7 関東信越国税局 総務部長

平成23.7 国税庁 課税部 個人課税課長

平成24.7 国税庁 課税部 課税総括課長

平成25.6 現職

この度の人事異動で札幌国税局長を拝命しました江國でございます。

北海道間税会連合会の皆様方には、日ごろから消費税・間接諸税はもとより税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴会におかれましては、消費税を中心とした間接税の納税者等で組織する団体として「消費税 活かすみんなの 間税会」のキャッチフレーズのもと、税の標語の募集活動やクリアーファイル「世界の消費税」を活用した消費税の啓蒙活動をはじめ、研修会等の開催、税制及び執行に関する意見・要望の提言、e-Taxの利用促進への取組みなどを積極的に展開されておられます。

これらの充実した活動は、役員をはじめ会員の皆様のご尽力の賜物であり、心から敬意を表する次第です。

さて、税務行政を取り巻く環境が激しく変化する中、私どもとしましては、社会・経済情勢の変化を的確に捉え、効率的な事務運営に努めるとともに、納税者の皆様から信頼される税務行政を行うことにより国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことを着実に果たしていく必要があると考えております。

昨年の8月には消費税法の一部が改正されましたが、来年4月に消費税率の引き上げが実施された場合には、関係省庁等と連携しながら適切かつ丁寧な対応に取り組んで参りますので、今後とも、税務行政の円滑な運営に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、北海道間税会連合会並びに傘下各間税会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、事業のご繁栄を祈念いたしまして、着任の挨拶といたします。

国税局幹部のご紹介 (敬称略)



くりはら かつふみ
栗原 克文
札幌国税局
課税第二部長

出身地 群馬県
略 歴 平成 2. 4 東京国税局 総務部 総務課
平成 3. 4 国税庁 直税部 法人税課
平成 15. 6 米国ハーバード大学国際租税講座 留学
平成 16. 7 国税庁 長官官房 国際業務課 課長補佐
平成 17. 7 税務大学校 研究部 教授 兼 教務課
平成 18. 7 長崎大学 経済学部 助教授
平成 21. 7 国税庁 長官官房 参事官 課長補佐
平成 22. 7 東京国税不服審判所 国税審判官
平成 23. 7 税務大学校 研究部 主任教授 兼 国際支援室長
兼 国税庁 長官官房 国際業務課
平成 25. 7 現職



さとう はる き
佐藤 春樹
札幌国税局
課税第二部次長

出身地 北海道
略 歴 昭和 49. 4 札幌国税局 総務部 総務課
平成 14. 7 札幌国税局 課税第二部 法人課税課 課長補佐
平成 16. 7 札幌国税不服審判所 国税副審判官
平成 18. 7 札幌中税務署 副署長
平成 20. 7 国税庁 長官官房 総務課 監督評価官室 札幌派遣 監督評価官室長
平成 22. 7 網走税務署長
平成 23. 7 札幌国税局 課税第二部 法人課税課長
平成 24. 7 札幌国税局 課税第一部 課税総括課長
平成 25. 7 現職



とよた ゆう じ
豊田 雄司
札幌国税局
課税第二部
消費税課長

出身地 北海道
略 歴 昭和 50. 4 札幌国税局 総務部 総務課
平成 14. 7 函館税務署 酒類指導官
平成 15. 7 江差税務署 総務課長
平成 16. 7 札幌国税局 課税第二部 酒税課 課長補佐
平成 18. 7 札幌国税局 課税第二部 酒類業調整官 (旭川中税務署派遣)
平成 20. 7 札幌中税務署 副署長
平成 22. 7 札幌国税局 課税第二部 酒類業調整官
平成 23. 7 富良野税務署長
平成 24. 7 小樽税務署長
平成 25. 7 現職



かい てつ や
甲斐 徹也
札幌国税局
課税第二部
消費税課課長補佐

出身地 北海道
略 歴 昭和 59. 4 札幌国税局 総務部 総務課
平成 16. 7 札幌国税局 課税第二部 法人課税課 監理第 3 係長
平成 18. 7 札幌国税局 課税第二部 法人課税課 総務係長
平成 19. 7 札幌北税務署 酒類指導官
平成 21. 7 札幌国税局 課税第二部 法人課税課 実務指導専門官
平成 22. 7 札幌西税務署 法人課税第 1 部門統括国税調査官
平成 23. 7 札幌西税務署 管理運営第 1 部門統括国税徴収官
平成 24. 7 現職



てらばし すみ よ
寺林 純世
札幌国税局
課税第二部
消費税課総務係長

出身地 北海道
略 歴 平成 5. 4 札幌国税局 総務部 総務課
平成 14. 7 札幌国税局 調査査察部 調査管理課 主任
平成 17. 7 札幌東税務署 法人課税第三部門 国税調査官
平成 19. 7 札幌国税局 徴収部 管理課 国税実査官
平成 22. 7 小樽税務署 総務課 会計係長
平成 23. 7 小樽税務署 総務課 総務係長
平成 25. 7 現職

第40回 通常総会開催される

組織拡大・財政基盤の強化とさらなる発展を！

去る6月5日（水）、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、札幌国税局から平井課税第二部長はじめ局幹部の皆様、また全間連から江川専務理事をご来賓にお迎えし、北間連第40回通常総会が開催された。開会に当たって高橋会長から「組織拡大・財政基盤の強化を図り、創立40周年という節目の年を契機としてさらなる発展を遂げられるよう皆様の一層の協力をお願いしたい」旨挨拶があった。議事審議は鷺尾副会長議長のもと進められ、全議案満場一致で承認可決された。また議事審議終了後、平井課税第二部長のご祝辞をいただき、閉会となった。（以下議事審議事項抜粋掲載）



●第1号議案「平成24年度事業報告」

1 組織関係

- (1) 会員数状況＝25年4月1日現在4902名（前年比113名減）
- (2) 青年部会・女性部会の部会員数＝25年4月1日現在610名（前年比19名減）
- (3) モデル会指定＝全間連第12回モデル会として旭川中間税会が指定され活動中

2 事業活動関係

(1)会議等実施状況、(2)消費税に関する啓蒙活動、(3)e-Tax 利用促進への取り組み、(4)税務関係団体との連携協調、(5)税制関係（提言活動等）、(6)広報関係などについて

●第2号議案「平成24年度収支決算報告及び剰余金処分」

1 平成24年度収支決算報告（単位未満四捨五入）

【一般会計】

◎平成24年度収支決算額（自24. 4～25. 3）

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額（千円）	勘定科目	金額（千円）
前期繰越金	4,260	人件費	4,108
会費収入	15,045	福利厚生費	542
広告料収入	0	事業費	2,175
臨時会費収入	586	会議費	926
雑収入	152	旅費交通費	2,174
		事務所関係費	995
		通信印刷費等	759
		部会助成金	1,082
		本部負担金	1,250
		雑費	253
		剰余金	5,779
合 計	20,043	合 計	20,043

【特別会計】

◎平成24年度全国大会特別基金決算額

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額（千円）	勘定科目	金額（千円）
前期繰越金	6,936	次期繰越金	7,937
一般会計から繰入	1,000		
雑収入	1		
合 計	7,937	合 計	7,937

2 平成24年度剰余金処分（単位未満四捨五入）

区 分	金額（千円）
特別会計へ（全国大会特別基金として）	1,000
一般会計へ（次期繰越金として）	4,779

●第3号議案「平成25年度事業計画」

〈基本方針〉

- ① 消費税の適正な申告と納税等に関する啓蒙活動、税制等への提言、e-Tax の利用促進。

② 会員の加入拡大・財政基盤の強化と提言力・存在感のある会活動の推進。

1 組織の拡大

(1) 会員の加入拡大等

今後とも提言力と存在感のある間税会として活発な会活動を推進していくため、引き続き会員増強、財政基盤の強化、会の活性化を図る。

(2) 青年部会・女性部会の既存部会の活性化等

後継者の育成と魅力ある行事の実施など会活動の一層の活性化が図られるよう努めることとし、当該部会が未結成である単位会においては、引き続きその結成に努める。

2 事業活動の推進

(1) 会議等予定（平成25年4月～26年3月：主たるものを抜粋）

月 日	会 議 名	月 日	会 議 名	備 考
4.19 金	正副会長・部会長会議	8.21 水	正副会長・部会長会議	この他税団協議会、全間連会議等に関係者出席
5.16 木	税制委員会	11.27 水	全道青年部会長・女性部会長会議	
6.5 水	青年部会第31回通常総会	〃	全道青年・女性部会員交流会	
〃	女性部会第27回通常総会	1.29 水	全道会長会議、常任理事会	
〃	第40回通常総会・40周年記念式典等	〃	納税表彰受彰祝賀会・賀詞交歓会	

(2) 消費税に関する啓蒙活動（研修会・説明会・講演会等の開催、クリアファイルの活用等）

(3) e-Taxの利用促進への取り組み（広報、未利用者の率先利用、税理士への働きかけ）

(4) 税務関係団体との連携・協調（税団協議会等）

(5) 税制関係（アンケート調査、税制および執行に関する意見・要望の提言等）

(6) 広報関係（会報紙発行、「税の標語」募集、「税を考える週間」協賛行事の実施等）

(7) ジブラルタ生命保険との団体契約加入の促進

●第4号議案「平成25年度収支予算案」

【一般会計】

◎平成25年度収支予算（自25.4～26.3）

（単位未満四捨五入）

収入の部		支出の部	
勘定科目	金額（千円）	勘定科目	金額（千円）
前期繰越金	4,779	人件費	4,128
会費収入	14,706	福利厚生費	568
広告料収入	80	事業費	3,510
臨時会費収入	580	会議費	1,640
雑収入	50	旅費交通費	4,010
		事務所関係費	1,060
		通信印刷費等	820
		部会助成金	890
		本部負担金	1,300
		雑費	300
		予備費	1,969
合 計	20,195	合 計	20,195

【特別会計】

◎全国大会特別基金

（単位未満四捨五入）

前期繰越金	7,937千円
前期一般会計剰余金繰入	1,000千円
計	8,937千円

●第5号議案「北間連役員補充選任」（敬称略）

単位会役員	氏 名	北間連役員	適 用
札幌南間税会 青年部会長	中目 雄介	常任理事 （税制委員） 青年副部会長	旧役員 京田浩明
岩見沢間税会 副会長	森下 重雄	常任理事 （会務運営委員）	旧役員 坂東 浩
岩見沢間税会 副会長	田中 義勝	理 事	旧役員 森下重雄
滝川間税会 副会長	川口 義弘	理 事	旧役員 笹木信弘
浦河間税会 会 長	蚊野 好之	常任理事 （税制委員）	旧役員 奥田宗夫
浦河間税会 副会長	中島 渡	理 事	旧役員 蚊野好之

（注）補充選任後の北間連の役員は別掲「北海道間税会連合会役員名簿」（16ページ）のとおりである。



北間連青年部会第31回・女性部会第27回通常総会開催される

北間連第40回通常総会に先立ち、青年部会第31回及び女性部会第27回通常総会が開催された。水野女性部会長挨拶の後、依田青年部会長議長のもと24年度事業報告・収支決算等、25年度事業計画・収支予算等、役員補充選任について提議、審議されいずれも承認可決された。その後、ご来賓の札幌国税局山田消費税課長のご祝辞をいただき閉会となった。



北間連創立40周年を迎えて

北間連は昭和48年6月に「北海道消費税協力会連合会」として発足し、本年、創立40周年を迎えたが、去る6月5日（水）に行なわれた北間連第40回通常総会終了後、創立40周年記念行事として講演会及び式典等を開催し節目の年を祝した。（詳細は別掲）

北間連創立40記念式典 高橋会長「式辞」（要旨）



北海道間税会連合会
会長 高橋 則行

当連合会は、物品税等個別間接税の七業種八団体を構成会員として昭和四十八年六月に「北海道消費税協力会連合会」として発足し、その後、平成元年の消費税の創設に伴い、消費税の課税事業者を中心とした幅広い会員で構成される組織に改組され、名称も「北海道間税会連合会」に改められ今日に至っております。

創立以来これまで間接税を中心とした税知識の普及、適正な申告と納税の啓蒙に努め、消費税導入の際には、新たな税制の周知など消費税の定着運動を推進し、税制への提言や「税を考える週間」協賛行事の実施あるいは会員交流会等様々な活動を展開して参りました。

また、全国間税会総連合会の通常総会いわゆる全国大会が北海道において三回開催されておりますが、いずれの大会も皆様のご協力のもと盛会裏に終えることが出来、開催地としての責任を何とか果たせたのではないかと考えております。

そして、創立以来取り組んで来ました活動の一つ一つが間税会の歴史として積み上げられ、今日四十周年を迎えることが出来たことは、偏に歴代の会長、役員及び全道各地の会員皆様の多大なるご尽力と、国税ご当局並びに関係団体の皆様の心強いご支援・ご指導があってのことと深く感謝しているところであり、改めて厚くお礼を申し上げる次第です。

ところで、消費税は国の基幹税として益々重要性が増し、また平成二十六年四月と二十七年十月の二回に渡り消費税率の引上げが予定されていることなどから、消費税に関する国民の関心は一層高まって来ており、このような中であって消費税の会としての間税会の役割はより大きくなるものと思いますが、それだけに組織拡大・財政基盤の強化を図り、提言力・存在感のある間税会として活動していくことが大切であると考えております。

いずれにしましても「適正な申告と納税の実践」を通して円滑な税務行政の運営に寄与するという間税会活動の基本を再認識し、微力ながら今後とも間税会の発展に努力していきたいと考えておりますが、創立四十周年という節目の年を契機として、新たな歴史を刻み更に発展していくことが出来ますよう、会員皆様のお力添えと国税ご当局、関係団体皆様のご支援・ご指導を重ねてお願い申し上げます。

北間連40周年記念講演会開催

講師「中桐万里子」氏



■ 略 歴 ■ 慶應義塾大学環境情報学部卒業。その後、京都大学大学院教育学研究科に進学し臨床教育学を学ぶ。平成17年、同大学院博士課程修了。京都大学博士（教育学）。平成19年より親子をつなぐ学びのスペース「リレイト」を主宰。関西学院大学講師、国際二宮尊徳思想学会常務理事、二宮金次郎基金名誉顧問などを務める。

去る6月5日（水）、札幌プリンスホテル国際館パミールにおいて、北間連創立40周年記念行事として、二宮尊徳7代目子孫である中桐万里子氏を講師にお迎えし、「豊かな人づくりを求めて＝二宮尊徳に学ぶ＝」と題し、講演会が開催された。講演会では報徳の精神で600もの村を復興させた業績や成功秘話などが伝えられ現代の経営学にも通じるものがあり、「尊徳の報徳の精神を見習い、企業経営にも報徳の実践を」との語りかけに参加者一同熱心に聞き入っていた。



北間連40周年記念式典及び記念祝賀会開催



記念講演会終了後、同会場において札幌国税局の伊藤局長をはじめとする局幹部、札幌市内の5税務署長、関係団体の会長ら多数のご出席をいただく中、北間連創立40周年記念式典が開催された。式典では高橋会長の式辞（前掲）に続き功労者表彰が行なわれ、高



橋会長から受彰者一人一人に表彰状が手渡された。また、受彰者を代表して八雲間税会の佐々木会長から「今後とも会活動の推進、発展に努力していきたい」旨謝辞があった。その後、来賓を代表して伊藤国税局長並びに江川全間連専務理事のご祝辞をいただき、式典の終了となった。記念式典に続き記念祝賀会が開催され、北海道税理士会の千葉副会長の祝杯により開宴となったが、各単会の活動状況やこれまでの思い出話に花が咲き、又、アトラクションでは「一世一代時代組」による殺陣と歌を中心とした迫力あるパフォーマンスショウが行なわれ、大いに盛り上がるなど、祝賀会としての楽しいひと時と料理を堪能したが、やがて閉会の時間となり、国税局の高橋課税第二部次長の閉宴の杯で祝賀会の終了となった。



功労者表彰を受彰された皆様（敬称略）

福島 勝男（札幌西）	吉田 勉（富良野）
水野タカ子（札幌西）	木賀 義晴（名 寄）
北嶋 充（札幌北）	堀口 亘（留 萌）
小笠原 隆（江 差）	寺本 清初（室 蘭）
佐々木秀雄（八 雲）	香島 勇一（網 走）
横山 喜貞（倶知安）	青田 輝智（紋 別）
工藤 修二（岩見沢）	白井 呉行（帯 広）
遠藤 ユリ（滝 川）	加藤 祐功（帯 広）
東 光代（旭川中）	古後 靖子（十勝池田）
鶴渕 泰子（旭川東）	福岡 正英（北間連顧問）

北 間 連 40 年 の 変 遷

北海道間税会連合会の 創立等について

1 創立の経緯（創立・昭和48年6月）

従来から道内における消費税関係の諸団体を一つにした協力的な組織の必要性が叫ばれていたが、具体的な構想を見ないまま推移したところ、昭和48年4月、東京で開催された「全国消費税協力会総連合会」創立総会を契機として、北海道にも全道を統一した納税協力団体の結成気運が急速に盛り上がり、北海道消費税協力会創立準備委員会が発足し、「消費税協力団体に係る自主的な申告納税体制の確立等を期するため税制等に対する改善意見を具申するとともに税務当局が行う施策に協力する」という目的の下に、昭和48年6月に「北海道消費税協力会連合会（略称・北間連）」が創立され、7業種8団体（末端会員数2922人）を構成会員として第一歩が踏み出された。

【7業種8団体】

北海道貴宝物品税協力会連合会
北海道貴金属宝石卸加工業者税務協議会
北海道質屋組合連合会
北海道家具建具工業協同組合連合会
北海道清涼飲料工業組合
北海道清涼飲料協会
全国エルピーガススタンド協会北海道地方本部
石油連盟北海道地方本部

2 組織の変遷（確立）

北間連の設立に呼応して税務署所在地ごとに地方間税協力会の設立の気運が高まり、昭和48年12月室蘭間税協力会の設立を皮切りに49年には函館ほか7団体、50年には札幌、北見の2団体が設立され合計11団体を数えるに至ったが、これら地方間税協力会は北間連の構成会員となる機構（組織体制）にはなっていないため、北間連に加入するよう呼びかけ、昭和51年2月の通常総会において地方間税協力会の加入が承認さ

れ、創立以来7業種8団体で運営してきた北間連もこれら地方間税協力会11団体の加入によって一段と強化されることとなった。

昭和53年には地方間税協力会の数も22を数えるまでにあったが、昭和54年2月の通常総会において地方間税協力会を通常会員、業種団体を特別会員とするなどの規約改正が行われ、地方間税協力会が単位間税会として北間連の構成員となる今日の組織基盤が確立された。

その後、平成元年の消費税導入に伴い、これまでの物品税等個別間接税中心の団体から消費税の課税事業者等幅広い業種の会員で組織する団体へと改組され、名称も平成2年6月に「北海道間税会連合会」に改称され、また、各单位間税会も「～間税協力会」から「～間税会」に改称された。

【単会設立年月】

単会名	設立年月	単会名	設立年月
札幌中	昭53.11	旭川東	平6.4
札幌西	昭53.12	富良野	昭53.4
札幌北	昭53.12	名寄	昭52.11
札幌東	平7.8	留萌	昭53.3
札幌南	昭53.11	稚内	昭53.5
函館	昭49.3	室蘭	昭48.12
江差	平元.11	浦河	平2.9
八雲	平元.9	苫小牧	昭49.11
小樽	昭49.6	網走	昭53.3
余市	平元.11	紋別	昭53.2
倶知安	平元.12	北見	昭50.6
岩見沢	昭49.6	釧路	昭49.11
滝川	昭49.4	帯広	昭49.3
深川	昭52.12	十勝池田	平2.6
旭川中	平6.4	根室	昭53.3

- 札幌中、西、北、南の4間税会は、昭和50年5月設立の「札幌間税協力会」が53年11月に解散し、税務署単位の4協力会に設立換えとなり今日に至っている。
- 札幌東間税会は札幌東税務署が新設されたことにより平成7年8月に札幌南間税会から分離して設立。
- 旭川中、東の両間税会は、昭和49年3月設立の「旭川間税協力会」が平成6年に税務署単位の2間税会に分割され設立したものである。
- 稚内間税協力会は昭和53年に設立しているが、平成9年11月に単会では全国初となる1市11町1村を連合体とする「稚内税務署管内間税会連合会」として改組され今日に至っている。

北海道間税会連合会 40年の歩み

- 昭和48年 6月 北海道消費税協力会
連合会創立
会長 中宮博史氏
就任
- 49年 4月 北海道間税協力会連
合会に改称
- 9月 「北間連だより」創
刊号発刊
- 51年 2月 地方間税協力会が北間連に加入
7業種11団体となる
- 52年 2月 第4回通常総会
福岡萬之助氏
第二代会長に就任
専門委員会規程の創設
- 54年 2月 創立5周年記念行事
地方間税協力会が北
間連の通常会員となる
- 3月 創立5周年記念特集号の発刊
- 57年 4月 青年部の創立（第9回通常総会）
- 10月 消費税申告納税制度施行20周年記念行事
- 58年 5月 第10回通常総会
（7業種22団体 末端会員数2,803人）
- 59年 4月 北間連創立10周年記念行事
- 60年 3月 北間連創立10周年記念特集号の発刊
- 61年 3月 婦人部の創立
- 8月 全間連北海道大会記念特集号発刊
- 9月 全間連第13回通常総会北海道大会



初代会長
中宮 博史 氏



第二代会長
福岡 萬之助 氏



全間連第13回通常総会 北海道大会
（末實祝辞 十枝国税庁間税部長）



全間連第13回通常総会 北海道大会
（佐々木基晴一行）

- 62年 10月 消費税申告納税制度施行25周年記念行事

平成2年 6月

- 第17回通常総会
武隈佐一氏
第3代会長に就任
北海道間税会連合会
に改組
（業種団体の廃止、
組織人員＝28団体
末端会員数2,657人）



第三代会長
武隈 佐一 氏

2年 9月

- 第1回モデル会

釧路間税会指定

4年 9月

- 第2回モデル会

札幌北間税会指定

4年 10月

- 間接税申告納税制度施行30周年記念行事

5年 5月

- 第20回通常総会（組織人員＝28団体
末端会員3,368人）

5年 9月

- 北間連創立20周年記念行事

6年 10月

- 第21回通常総会

松山正雄氏

第4代会長に就任

第3回モデル会

札幌西間税会指定

青年部及び婦人部を

「青年部会」「女性

部会」に改称

女性部会創立10周年記念行事

10月

- 第4回モデル会

函館間税会指定

9年 10月

- 間接税申告納税制度施行35周年記念行事

10年 6月

- 第25回通常総会（組織人員＝30団体
末端会員数6,911人）

6月

- 北間連創立25周年記念行事

10月

- 第5回モデル会

岩見沢間税会指定

11年 10月

- 全間連第26回通常総会北海道大会

全間連北海道大会記念特集号発刊



全間連第26回通常総会 北海道大会
（松山北間連会長の開会宣言）



全間連第26回通常総会 北海道大会
（鏡開き・乾杯風景）

- 平成12年 1 月 青年・女性部会会報紙「はまなす」創刊号発刊
- 6 月 第27回通常総会
福岡正英氏
第5代会長に就任
- 10月 第6回モデル会
札幌南間税会指定
- 14年 6 月 青年部会創立20周年記念行事
- 9 月 第7回モデル会 札幌東間税会指定
- 10月 間接税申告納税制度施行40周年記念行事
- 15年 9 月 北間連創立30周年記念行事
- 16年 9 月 第8回モデル会
苫小牧間税会指定
- 17年 1 月 間税会新キャッチフレーズ決まる
「消費税 活かすみんなの間税会」
- 17年 3 月 「北海道納税協力団体連絡協議会」発足（道法連・道青連・北間連・道納連の4団体で構成）
- 18年 6 月 第33回通常総会
高橋則行氏
第6代会長に就任
北間連女性部会創立
20周年記念行事
- 18年10月 第9回モデル会
稚内税務署管内間
税会連合会指定
- 19年10月 間接税申告納税制度施行45周年記念行事
- 20年 9 月 第10回モデル会
滝川間税会指定
- 10月 北間連創立35周年記念功労者表彰
小中学生からの「税の標語」応募作品に北間連会長賞創設
- 21年11月 全間連第38回通常総会北海道函館大会の実行委員会設立（函館）
- 22年 4 月 関係6団体「e-Tax 利用推進宣言」実施（宣言書、札幌国税局長に手交）
- 22年 6 月 17年3月設立の「北海道納税協力団体連絡協議会」に道税理士会が加入し新たに「北海道税務関係団体連絡協議会」として発足
- 22年10月 全間連第37回通常総会四国大会
北間連から総勢30名参加



第五代会長
福岡 正英 氏



第六代会長
高橋 則行 氏



全間連第37回通常総会 四国大会
（会旗引継ぎ）

- 平成22年10月 第11回モデル会
札幌中間税会指定
- 23年 9 月 全間連38回通常総会北海道函館大会
全間連北海道函館大会記念特集号発刊



全間連第38回通常総会



アトラクション・民謡

- 24年10月 第12回モデル会
旭川中間税会指定
- 24年11月 北間連青年部会創立30周年記念行事（講演会等）举行



記念講演会（野球解説者「岩本 勉」氏）

- 25年 6 月 北間連創立40周年記念行事（講演会・式典等）举行



功労者表彰



40周年記念祝賀会

平成25年度「消費税等に関するアンケート調査」実施

■■■ 回答率73.2%！ 皆様のご協力ありがとうございます ■■■

本年4月、全間連による「消費税等に関するアンケート調査」が行なわれ、これを受けて北間連では850件の調査を依頼し、各間税会会員皆様のご協力のもと622件の回答（回答率73.2%）があった。アンケートは「①消費税の税率構造について（食料品等の軽減税率による複数税率が良いか、単一税率による給付付き税額控除制度が良いのか）」、「②納税者番号制度の早期導入の提言を継続すべきか否か」の2項目であったが、税率構造については食料品等生活必需品の軽減税率を望む声も寄せられた反面、事務負担の増加や生活必需品等の区分判定の困難性などから単一税率を維持すべきとの意見が多く、また、納税者番号制度については早期導入の提言を継続すべきという意見が多く寄せられた。（納税者番号制度については本年5月24日に「共通番号制度法（マイナンバー法）」として成立したところである。）

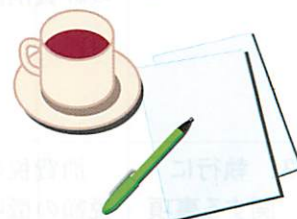
アンケートの各調査項目等の回答状況は次表1及び2のとおりである。

1 調査総数等

区 分	件 数 等		前回比(%)
	本年	前回	
調査依頼件数	850	850	100
回答単位会数	30	30	100
回 答 件 数	622	628	99.04
回 答 率 (%)	73.2	73.9	0.7%減

* 全道30単位会全てから回答があった。

また、本年の回答件数622件の男女別内訳は、男520件、女102件（前回・男515件 女113件）となっている。



2 調査項目ごとの回答状況

項 目	設 問	回答件数	構成比(%)
1 消費税の税率構造	①低所得者対策の内容が確定するまでは、従来からの給付付き税額控除制度の提言を継続するのが良い。	175	26.8
	②政権与党の方針を踏まえ、軽減税率制度に賛同する提言に切り替えるのが良い	151	23.1
	③軽減税率制度を導入するにしても、その対象は一部の食料品に限定するなど、できるだけ狭い範囲のものとし、給付付き税額控除制度も併用して、低所得者対策の充実を図るのがよい。	231	35.3
	④消費税は消費支出に対して比例的な負担となるので、特に低所得者に配慮する必要はない。	60	9.2
	⑤分からない。	32	4.9
	⑥その他（ ）	5	0.7
	計	654	100
2 納税者番号制度	①低所得者対策の内容が確定するまでは、従来からの納税者番号制度の早期導入の提言を継続するのがよい。	191	30
	②政権与党の方針により軽減税率制度を導入するにしても、納税者番号制度は社会保障分野でも必要なので、早期導入の提言を継続するのがよい。	293	46.1
	③政権与党の給付付き税額控除制度を採用しない方針を踏まえて、納税者番号制度についての提言は、しないのがよい。	64	10.1
	④分からない。	82	12.9
	⑤その他（ ）	6	0.9
	計	636	100

全間連に「歳出、税制及び執行に関する意見・要望」を提出

本年4月に行なわれた「消費税等に関するアンケート調査」及び5月16日（木）に行なわれた「税制委員会」の検討結果等を踏まえ、「歳出、税制及び執行に関する意見・要望」事項を下記のとおり取りまとめ、全間連に提出（6月10日）した。（全間連では全国の意見・要望を取りまとめ、9月上旬には「税制及び執行に関する要望書」を政府税制調査会に提出予定である。）

区 分	意 見 ・ 要 望	理 由 （ 又 は 説 明 ）
1. 歳出に関する事項	更なる行財政改革の断行と税の使途の再検証を徹底し、一層の経費削減を図ること。	特殊法人の見直しなどは中途半端に終わっている感があり国民の信頼は得られていない。また国会議員の削減を早期に実施するほか国会議員の歳費の恒久的な削減、公設秘書の給与の見直し（削減）等を断行するなど、一層の経費削減が望まれる。（歳出削減が徹底されているという実感がない中で増税は国民の理解と納得は得られない。）
2. 執行に関する事項	消費税の滞納発生防止と滞納税額の徴収を徹底すること	消費者からの預かり金的性格を有する消費税が、一部の事業者（納税者）に滞り国庫に入らないということは、適正に納めている納税者の不公平感や税務行政への不信感にも繋がりがねない。 また、現在においても国税滞納額に占める消費税滞納額の割合は高く、今後、税率の引き上げにより更に増加することが懸念される。
3. 消費税に関する事項	(1)消費税率引き上げについて ①消費税率引き上げの実施は行財政改革等の徹底を図り、経済状況を十分見極めて実施すること。 ②税率の段階的な引き上げに当たっては、2～3年の間隔を置いて実施すること。	①税率引き上げの実施に当たっては、更なる行財政改革の徹底、経費の削減等無くして国民の理解は得られない。 また、税率引き上げの判断は、国民が「景気が良くなった」と実感できる経済状況にあるのかなど景気動向を充分見極め慎重に行なうべきであり、単にムード的な景況感により税率の引き上げを判断することは、買い控え等、消費の冷え込みが危惧される。 ②最初の税率引き上げの翌年にまた引き上げというのであれば、事務負担等の増加に比し段階的実施の意味合いが薄れる。（「翌年直ぐ引き上げというのであれば、一度に引き上げたほうが良い」という声も聞かれる。）
	(2)税率について 単一税率を維持すべきである。	食料品等生活必需品の軽減税率、高級・奢侈品等への割増税率などの意見も多いが、次の諸点から単一税率を維持すべきである。 ①複数税率の導入は「制度の簡素化」、「経済活動に対する中立性」の大きな阻害要因となる。 ②軽減税率の対象品目を生活必需品に限定するとしても、そもそも「生活必需品」の概念をどのように捉えるのかという問題があり、加えて生活必需品等税率を異にする対象物品を合理的な基準で区分することはとても困難なことであり、国民の間に混乱を生じかねない。 ③軽減税率は多くの事業者に対象品目の仕分け、レジの改造や取替え、申告事務の手間といった負担が増加する。

区 分	意 見 ・ 要 望	理 由 (又 は 説 明)
		④消費税の申告・納税に際しては、軽減税率適用品目の判断基準の困難性に加え恣意性も入ることなどから、税率区分の正否の判定等適切に対応するための事務量の増加やトラブル、訴訟が生じるなど、納税者、課税庁双方に大きなコスト増となる。 ⑤軽減税率は、高所得者ほど受ける利益が大きくなるほか、みんなの税負担が引き下がることになり逆進性という状況は変わらないなど逆進性の緩和という政策効果は薄く、一方では膨大な税収を失うことになる。 ⑥軽減税率はインボイス方式の導入が不可欠であり、事業者の事務負担の増加や免税事業者が取引から排除されることが懸念される。 ⑦軽減税率等複数税率のもとでは、零細企業にも簡易課税制度ではなく本則課税を求めることになるが、仕入れ税額控除の作業が煩雑化するなど現実的ではない。 ⑧食料品等の軽減税率を設けると、書籍、新聞、医薬品等々業界からの軽減要望が拡大していく可能性が高く、また、軽減税率対象品目をめぐり政治的利権の発生も危惧されるなど「逆進性の緩和」にそぐわない際限の無い拡大が懸念される。
	(3) 逆進性対策について 「給付付き税額控除制度」を導入すべきである。	複数税率導入は政策効果が薄くデメリットが多いため、今後とも「単一税率」を維持していく必要があるが、この場合、低所得者への逆進性緩和対策は「給付付き税額控除」制度の導入により対応すべきである。 なお、これまで「この制度の導入のためには納税者の所得を的確に補足出来るよう、「納税者番号制度」の早期導入を図るべきである」旨、提言してきたが、去る5月24日に共通番号制度法（マイナンバー法）が成立し、所得の補足等の環境が整備されて行くことから、「給付付き税額控除制度」の導入を強く主張（提言）していく必要がある。
	(4) 個別間接税と消費税の併課について 揮発油税、酒税等と消費税との併課を解消すべきである。	揮発油税等と消費税の併課の問題は「揮発油税や酒税、タバコ税などは製造場から移出される時の商品の製造原価を構成するものであり、この商品価格に消費税を上乗せしても問題ない」とされている。 しかしながら、ガソリン等の購入に当たっては揮発油税等に消費税を上乗せした金額（タックス・オン・タックス）の支払いを余儀なくされているところであり、また今後消費税率が引き上げられると併課による消費税負担額は一層重くなり、消費者には到底納得できないことであり、早期に解消が図られるべきである。



活動だより

◆ ゴルフコンペ開催 — 札幌西間税会

去る、6月19日（水）札幌真駒内ゴルフ場において、札幌西間税会の親睦ゴルフコンペが開催されました。前日までの猛暑が嘘のような、さわやかな気温の中でプレーが出来ました。風もなく、ときおり強い日差しに汗ばむこともありましたが、ゴルフには最高のお天気で、ハイスコアが続出（？）し、会員相互の親睦も深め、事故もなく無事終了できました。ただゴルフシーズン真っ只中での開催、会員への案内も遅かったせいか、参加者が少ない結果となりました。これらを反省し次年度は盛大に開催出来るよう努力させて戴きます。



◆ 税務研修会開催

— 旭川中間税会青年・女性部会

去る6月25日（火）、旭川トーヨーホテルにおいて青年・女性部会による税務研修会を開催。当日は旭川中税務署の水落法人1統括官及び森下上席を講師にお招きし、消費税や印紙税の改正についての研修を受けましたが、分かり易い説明に出席者一同熱心に聞き入っていました。研修会終了後、会場をビヤガーデンに移して懇談会が行なわれ、和気藹々とした雰囲気の中親睦を図ることができました。



◆ 親睦ゴルフ大会開催

— 旭川東間税会青年・女性部会

去る7月20日（土）、大雪山カントリークラブにおいて毎年恒例となっている親睦ゴルフ大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ絶好のゴルフ日和となり、ナイスショット、ミスショットが入り乱れる（？）なか、優勝を目指して熱きバトルが繰り広げられました。心地よい汗をかいた後、旭川グランドホテルでの表彰式を兼ねた懇談会ではビールと料理を堪能しながらゴルフ談義に花が咲きましたが、会員交流と親睦の輪を広げる楽しいゴルフ大会となりました。



◆ セミナーと税務相談開催 — 札幌南間税会

去る6月26日（水）、永浜クロス（株）会議室において、昨年好評をいただいた「改正税法セミナー」と

「税務相談」が開催されました。当日は札幌南税務署から法人第1部門の佐藤上席を講師にお招きし、平成25年度の改正税法についてお話を

いただきましたが、分かりやすい説明等に皆熱心に聞き入っていました。また、セミナー終了後、当間税会の顧問税理士による「税務なんでも相談コーナー」を設置し、当日は渡部喜彦税理士に担当していただきましたが、丁寧で親切な対応等に相談者も満足のうちに終了しました。



◆ 函館港まつり（いか踊り）に参加

— 函館間税会

去る8月3日（土）、函館間税会が青申会、納貯連と「e-Tax協力隊」を結成し、函館港まつりの「いか踊り」に参加した。総勢350名が勢いよく走り、飛び、跳ね、踊る様は正に壮観であり、また、「イータ君」も登場し、山車の上からはe-Taxの利用促進を呼びかけるなど間税会等の存在を大いにアピールするいか踊りとなった。そしてこの一致団結した迫力満点の踊りが評価され、見事、審査員特別賞の「団結賞」に輝いた。



◆ 北間連税制委員会開催される

去る5月16日（木）、北間連事務局において札幌国税局の甲斐課長補佐、鈴木総務係長をご来賓にお迎えし税制委員会が開催された。久住税制委員長あいさつの後、「消費税等のアンケート調査」結果等を踏まえ検討・協議を行い「歳出、税制及び執行に関する意見・要望」事項が取りまとめられ、後日全間連へ提出された。（提言内容は別掲のとおり。）

◆ 税団協総会等開催される

去る6月24日（月）、ホテルライフオー札幌において税務関係5団体で構成される「北海道税務関係団体連絡協議会（税団協）」の総会が開催され、平成24年度事業報告、25年度事業計画等について提議され承認可決された。総会終了後、同ホテルに於いて国税局と税団協の協議会が開催され、税団協からは各団体の活動状況等、国税局からは税務行政の現状等について説明があり今後の会活動や税務行政の円滑な運営等について意見交換が行なわれた。

岩見沢間税会女性部会設立される！

去る6月17日（月）、ホテルサンプラザにおいて岩見沢間税会女性部会設立総会が開催されました。当日の設立総会にはご来賓として札幌国税局課税第2部長平井美佳様、岩見沢税務署長鳥海謙一様はじめ税務署幹部の皆様、そして北間連専務理事奈須川弘志様のご臨席をいただいての開催となりましたが、冒頭、親会の岩見沢間税会工藤修二会長から女性部会設立のお祝いと今後の活発な活動を期待している旨挨拶がありました。設立総会の議事では「女性部会規約」、「25年度事業計画・収支予算」が提議され何れも承認可決され、また役員選出では初代女性部会長に波田野愛様が就任となりましたが、女性部会長就任挨拶では「今後、青年部会と両輪で、正しい税知識の普及や親睦事業に取り組み、組織の拡充や活性化へ女性部会の担う役割を果たしていきたい」との力強い抱負が述べられ、会場からは盛大な拍手が送られました。その後、課税第2部長平井美佳様のご祝辞をいただき、設立総会も盛大のうちに滞りなく終了することが出来、ここに総勢40名の女性部会が誕生しました。



国税局から「ダイレクト納付」のお知らせ

ダイレクト納付とは・・・

ダイレクト納付とは、事前に税務署に届出書の提出等をしておくことにより、e-Taxを利用して電子申告等又は納付情報登録をした後に、簡単な操作で、届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は指定した期日に納付することができる新たな納付手段です。

利用開始の準備

① e-Taxの利用開始の手続を行います。

e-Taxホームページから、「e-Taxの開始届出書」をオンラインで提出
→ 利用者識別番号を取得（即時発行されます）

② ダイレクト納付の利用開始の手続を行います。

「ダイレクト納付利用届出書」を書面で税務署に提出
→ 「ダイレクト納付登録完了通知」がメッセージボックスに格納

ダイレクト納付利用可能

ダイレクト納付が利用可能となるまでには、「ダイレクト納付利用届出書」を書面で提出してから、1か月程度かかります。この間に納付すべき国税がある場合は、納付書を利用して、金融機関や税務署の窓口で納税するか、インターネットバンキング等のその他の電子納税を利用してください。

※ ダイレクト納付に関する詳しい情報は、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）に掲載されていますので、ご覧ください。

北海道間税会連合会役員名簿「専門委員会別」(敬称略)

25. 6. 5 現在

単位会	常 任 理 事 (◎委員長 ◇青年・女性部会)					理 事		監 事
	会長・副会長	総務	会務・運営	広報	税制			
札幌中	副) 戸澤 亨	◇依田忠敏 ◇(女性部・未定)	和田幹夫	◎戸澤 亨		未定		橋本靖弘
札幌西	副) 久住 博	◇石井國夫	大島紀之	福島勝男	◎久住 博 ◇水野タカ子	永田英治		品川 宏
札幌北	副) 鷲尾和徳	◎鷲尾和徳 ◇岩崎和子	北嶋 充 ◇米重武志		広瀬 進	酒井敏一		
札幌東	副) 横山昭仁		◎横山昭仁	◇安藤恭輔 ◇(女性部・未定)	未定	未定		
札幌南	副) 永濱芳久	永濱芳久	◇北村さゆり	杉浦勝利	宮内光則 ◇中目雄介	柳谷泰蔵		
函 館	会長 高橋則行	成澤 茂	灰谷良一 ◇小林 潤	和田一明 ◇松木志津香		未定		
江 差		小笠原 隆				未定		
八 雲			佐々木秀雄			高橋勝子		
小 樽				◇杉下清次	安部新市 ◇新倉百恵	奥村雄一郎		
余 市			清水義信			高見祐司		
倶知安				横山喜貞		未定		
岩見沢		工藤修二	森下重雄	中川 豊	◇鈴木安行	田中義勝		
滝 川		明円直志	◇伊藤克嘉 ◇遠藤ユリ			川口義弘		
深 川				廣野勝利		寺迫公裕 ◇清水一男 ◇片山富恵		
旭 川 中	副) 新谷龍一郎	◇湯浅義弘		生駒雅彦	新谷龍一郎	◇東 光代		
旭 川 東			山崎與吉	中川竹志 ◇鶴淵泰子	濱口勝紀	未定		
富良野					吉田 勉	未定		
名 寄				木賀義晴		未定		
留 萌		堀口 亘				田下啓一	◇梅田敏英	
稚 内	副) 田辺登代二		中野修二	田辺登代二	瀬戸基文	水口脩次		
室 蘭		松永英樹	菊谷達夫			宮澤日出夫	◇寺本清初	
浦 河					蚊野好之	中島 渡		
苫小牧	副) 福原次郎		福原次郎		中田吉信	市町峰行		
網 走		香島勇一		◇藤田健次郎	◇佐藤美枝子			
紋 別				青田輝智		須田修一郎		
北 見		河合昭徳	舛川 誠			今野政男		
釧 路	副) 佐藤悦夫	佐藤悦夫		濁沼英一	佐藤 優 ◇佐藤忠史	真柳正裕 宗像俊郎 ◇山田実千代		
帯 広		臼井呉行 ◇佐々木節子	藤本長章	◇加藤祐功	徳井裕昭	(未定)		
十勝池田		田岡明洋				齊藤健司 ◇古後靖子	◇鳴海隆司	
根 室		滑川義幸				渡邊政之		
計	10	(兼 3) 19	(兼 2) 19	(兼 2) 19	(兼 2) 18	28		2

◎～専門委員会・委員長 ◇～青年部会・女性部会

(注) 6月5日の第40回通常総会終了後、単会において役員改選があったことなどにより北間連の役員に変更が生じる場合は、平成26年1月の常任理事会で補充選任が行なわれる予定です。